

事業所名: キャリー保育園東向島

令和4年度
福祉サービス第三者評価
評価結果報告書

評価機関(機構07-172)
合同会社 福祉経営情報サービス

福祉サービス第三者評価結果報告書(令和4年度)

2023年 3月 27日

キャリア保育園東向島
園長 高田宏美殿郵便番号 104-0061
所在地 東京都中央区銀座6-6-1 銀座風月堂ビル5F
合同会社 福祉経営情報サービス
評価機関名認証評価機関番号
電話番号 03-5537-7750
代表者氏名 渡邊廣貴

機構 07 - 172



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	渡邊廣貴	経営	H0403033
	②	川邊明美	福祉	H2001044
	③	高谷史郎	福祉	H1201010
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	地域型保育事業 小規模保育所			
調査対象事業所名称	キャリア保育園東向島			
事業所連絡先	郵便番号	131-0032		
	所在地	東京都墨田区東向島5-36-10		
	電話番号	03-3613-5115		
事業所代表者氏名	高田 宏美			
契約日	2022年 10月 1日			
利用者調査票配布日(実施日)	2022年 10月 3日			
利用者調査結果報告日	2022年 12月 9日			
自己評価の調査票配付日	2022年 10月 3日			
自己評価結果報告日	2022年 12月 9日			
訪問調査日	2023年 2月 9日			
評価合議日	2023年 3月 6日			
コメント (利用者調査の工夫点、補助者・専門家等の活用などを記入)	事業評価: ・経営層自己評価の中で課題として認識している項目については、その課題に対する対応状況等を聞き取り現状の把握に努めた。			

評価機関から上記及び別紙の調査結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

年 月 日

事業者代表者氏名 キャリア保育園東向島 園長 高田 宏美



1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	<p>1)安心、安全、安定を提供します。 2)生活と遊びを通して生きる力の基礎を培います。 3)職員の能力を伸ばし、保育の質の向上を伸ばします。 4)家庭と保育園はパートナーです。</p>
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	(1)職員に求めている人材像や役割
	<ul style="list-style-type: none"> ・危険を察知し、安全の確保に努められる人。 ・子どもが安心感をもって活動できるように子どもの思いや願いを受け止められる人。 ・自分自身の言動や行動を振り返り、向上心を持てる人。 ・協調性を持ち、距離感を保ち、コミュニケーションが図れる人。 ・感染症予防、対策をしっかりと理解している人。
	(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)
	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な保育をする。 ・思いやりの気持ちを持ち、過ごす。 ・危機管理能力を高める。 ・コミュニケーションを図りながら、聴くことの大切さが分かる。

調査対象	保育園を利用している全世帯の保護者を対象に調査を実施した。 1世帯で複数名の子どもが通園している場合は1回答とした。 子供総数：9 世帯数：9	
調査方法	・調査項目：東京都福祉サービス第三者評価の標準様式に準拠。 ・事業所への報告：自由回答については匿名性への配慮を行った上で事業所に報告した。	
利用者総数	9	
利用者家族総数(世帯)	9	
共通評価項目による調査対象者数	9	
共通評価項目による調査の有効回答者数	9	
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	100.0	

利用者調査全体のコメント

<p>総合的な感想では「大変満足」が回答の33%、「満足」が67%であり、回答者全員が「大変満足」「満足」のいずれかを選択している。</p> <p>総合感想の自由記述では、「こどもの気持ちに寄り添い、丁寧な保育をしてくださっていると感じています。」という回答のほか、職員の対応についての回答などがあった。意見としては、保護者との連絡ツール(アプリ)の活用を要望する回答が複数あった。個別の設問では対象者もあまり多くなかったことから回答数も少なく、自由意見は多くはない。</p> <p>なお、以下の利用者調査結果のコメントにある選択肢の回答率については「無回答・非該当」を除いた数値を参照して記載している。</p>
--

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	9	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。設問の自由意見欄には「トイレトレーニングを保育園で始めてから自宅でも積極的にできるようになった。水遊びやどんぐり拾いなど季節を感じた遊びをしてくれる。」という回答があった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	9	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。設問の自由意見欄に回答はなかった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	6	0	0	3
「無回答・非該当」を除く回答者全員が「はい」を選択している。設問の自由意見欄には「自宅で食べない食材でも保育園だと食べられるものも多い。」という回答などがあった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	7	0	0	2
「無回答・非該当」を除く回答者全員が「はい」を選択している。設問の自由意見欄には「季節の行事は少ないようにも感じる。」という回答があった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	3	0	0	6
「無回答・非該当」を除く回答者全員が「はい」を選択している。この設問では「急な延長保育の際にも丁寧に接してくれる」旨の回答があった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	6	2	1	0
回答者の67%が「はい」を選択している。この設問では保育園内の備品の整理・整頓に関する回答があった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	6	2	0	1
回答者の75%が「はい」を選択している。設問の自由意見欄には、行事日程の連絡について、現状よりもさらに早めの周知を望む意見があった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	7	2	0	0
回答者の78%が「はい」を選択している。設問の自由意見欄には、送迎時にもう少し話せると安心である旨の回答のほか、「〇〇先生にのみ話せる」と、話したり相談する職員は限られる旨の回答などが見られた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	6	1	0	2
回答者の86%が「はい」を選択している。設問の自由意見欄には、普段園内をじっくり観察したことがないのでわからないとしたうえで「行事などで中を見た限りは大丈夫だったように思う。」という回答などがあった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	8	1	0	0
回答者の89%が「はい」を選択している。設問の自由意見欄に回答はなかった。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	8	0	0	1
「無回答・非該当」を除く回答者全員が「はい」を選択している。設問の自由意見欄に回答はなかった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	2	1	0	6
回答者の67%が「はい」を選択している。設問の自由意見欄には子ども同士で遊んでいる時に怪我をしないか心配する意見があった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	9	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。この設問では「どの職員の方も話し方が優しい。」という回答があった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	8	0	0	1
「無回答・非該当」を除く回答者全員が「はい」を選択している。設問の自由意見欄に回答はなかった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	8	1	0	0
回答者の89%が「はい」を選択している。設問の自由意見欄には「あまり詳しく聞く機会がないように思う。」という回答があった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	7	0	0	2
「無回答・非該当」を除く回答者全員が「はい」を選択している。設問の自由意見欄に回答はなかった。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	7	2	0	0
回答者の78%が「はい」を選択している。設問の自由意見欄に回答はなかった。				

I 組織マネジメント項目 (カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目		
1	カテゴリ1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ1 (1-1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当	
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当	
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当	
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当	
カテゴリ1の講評			
<p>職員には入社時に、保護者には入園時に、理念や方針が丁寧に周知されている</p> <p>理念・方針については入社初日のオリエンテーションで職員向け説明がされている。また、勤務開始日にはお昼の時間を活用して入園のしおりを読み合わせ、保育理念や業務、勤務上のルールなどを伝えている。読み合わせは毎年実施し、園内で理念、目標の再確認をしている。4月入社の職員にはリモートにより社長講話を聞く機会も設けている。保護者には入園面談の時に、入園のしおりを用いて、理念などを伝えるほか、掲示で理念や保育園の基本的事項などを周知している。</p> <p>子どもを尊重し、個々を受け止めて関わることを大切に職員に周知されている</p> <p>園長は運営管理を主に担当し、保育の現場は保育リーダーに任せている。その中で園長は随時、保育の現場に足を運び、支援の様子を見守ることにしている。子どもを尊重することを第一に考え、自我の芽生えや個々の思いを知り、受け止めてから個々の発達に応じた関わりを持つこと、これを大切に職員に伝えており、子どもの思いを保育者が汲み取り、子どもが楽しく過ごせる環境づくりをしている。現場では園長が適宜、職員一人ひとりに声を掛け、指導をして、園が大切にしている保育の実践に取り組んでいる。</p> <p>重要な決定事項は職員に周知され、園内の重要事項はリーダー層で検討がされている</p> <p>毎月系列園の園長会で重要事項について話し合われている。本部の決定事項は朝礼で職員に周知しており、内容をしっかりと伝えたい場合は職員会議時に周知をしている。園の重要事項はクラスリーダー3名(うち1名は保育リーダー)を随時招集して検討し決定をしている。</p> <p>不明なことや相談事項は本部窓口で確認し相談ができる体制がある。また、定期的に巡回する本部のマネージャーにも相談できる。そのほか、本部の人事直通のホットラインがあり職員が利用可能である。</p>			

2 カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
<p>法人でアンケート調査や人材活性調査を実施して保護者・職員の意向が把握されている 夏祭りや発表会、お別れ会などの行事後には保護者アンケートを行い、感想や意見を確認している。また、年2回、運営委員会を開催しており、保護者からアンケートを取って意見を聞き取っている。そのほか、年度末には法人全園でWEBを活用して園の保育に関するアンケートを実施しており、保護者意向の把握がされている。職員の意向については本部が人材活性化を目的とした調査を実施しており、人材育成などに活用されている。</p> <p>地域の情報や保育ニーズの把握に努め、園の課題を抽出している 年5回、区も参加する小規模保育園の連絡会がリモートも活用して開催されており、園として参加して小規模園の運営や保育について情報交換をしている。また、法人の園長会からの情報のほか、本社からの情報により福祉や保育事業の動向などの情報を把握している。法人園長会では各園の活動が月次で報告されている。保育実施面や事故、感染症、地域その他について毎月報告がされており、園ではこれらの情報のほか、保護者や職員の意向、園内の状況などに基づき園の課題を把握し抽出している。</p> <p>単年度の取り組みを年度末に振り返り、課題解決に向け職員間で話し合っている 事業計画は年度当初に保育目標と保育内容、年間行事、食育・保健、子育て支援・地域交流、危機管理、職員研修計画を記し園長が作成している。また、年2回の運営委員会時には事業計画と現状を照らして振り返っており、運営委員会のレジュメに記載して保護者などに周知されている。園内の課題については保育リーダーから各クラスの職員に周知しており、年度末の職員会議で取り組みを振り返り、その内容を職員会議録に記録している。総まとめの際に抽出された課題については、解決に向け次年度の取り組みのなかで職員間で話し合っている。</p>		

3 経営における社会的責任			2/2
サブカテゴリ-1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常的言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇)・非該当1	
評価	標準項目		
○あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		●非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		○非該当

カテゴリー3の講評

職場のマナーや社会人としてのルールなどを研修や日常の中で職員に周知している

園内研修の中で接遇マナー研修を毎年度必ず実施している。敬語の使い方や話し方、職場のマナー、身だしなみ等、社会人としてのルール守ることを朝礼や会議の場で職員に伝え、場合により個別指導などもしている。オープンに伝えあえる職場づくりを心がけており、不適切な保育についても事例をピックアップして読み合わせを適宜実施し、意見交換をして職員同士で自らの保育を振り返り意識を高めている。

虐待防止に取り組み、また、苦情解決の仕組みを整備して権利擁護に取り組んでいる

虐待マニュアルを整備し、年1回、職員個々がチェックリストを実施して、自主的な改善に取り組んでもらっている。虐待の疑いがあれば、関係機関と連携をする体制がある。苦情相談窓口についてはQRコード付きの周知ポスターを掲示して、相談のしやすさへの配慮をしている。また、入園のしおりに受付責任者・担当者、第三者委員の連絡先を記載して入園面談時に保護者に周知している。苦情があれば原因と対応、結果を丁寧に記録に残し対応をしている。

実習生の受け入れのほか、連絡会で小規模園の課題共有や地域交流の検討をしている

実習生の受け入れ予定がある。マニュアルと計画は法人で準備されており、園内でオリエンテーションを実施して受け入れている。小規模な保育園での受け入れは評価したい点であった。地域内での連携については、小規模保育園連絡会において小規模保育園の課題を共有するとともに、地域交流や保育園同士の交流について話し合いが持たれている。カテゴリー3-3-2-1については、東京都福祉サービス第三者評価で定員、対象年齢が類似している事業種別が非該当であることから、当保育所の評価においても「非該当」としている。

4 リスクマネジメント		サブカテゴリ1(4-1)	
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
		4/5	
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(○○○○●)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている		○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている		○非該当
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している		○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる		○非該当
サブカテゴリ2(4-2)		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		4/4	
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(○○○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している		○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている		○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している		○非該当
カテゴリ4の講評			
<p>防犯の対応訓練や防災避難訓練を実施し、安全性の確保に努めている</p> <p>防犯対策に力を入れており、不審者対応訓練は年2回実施している。過去には警察署の立ち合いで実施したこともあり、子どもが怖がらないよう、子どもの気持ちに配慮して実施している。防災計画を作成し、年間12回の訓練を実施している。通報、消火、避難、引き渡しのほか、総合訓練を年2回実施し、対応行動が出来るよう取り組んでいる。救命救急訓練は年1回実施している。AEDの使用については職員個々に講習に参加して正職員は皆資格を持っている。水害対策では区に準拠して避難確保計画を作成し、実際に避難場所への避難訓練が実施されている。</p> <p>事故やヒヤリハットについては対応策を話し合い、再発防止に取り組んでいる</p> <p>大規模災害時の事業継続計画(BCP)については策定することが望まれる。</p> <p>事故予防では、公園マップをハザードマップとしても活用し、危険箇所を発見したときは順次更新している。また、ヒヤリハットと事故・軽傷についてそれぞれ報告書を作成して記録している。起きた事故やヒヤリハットについては、職員間で原因と対策を話し合い、会議録に記録のうえ、再発防止に取り組んでいる。安全に対する対策や訓練に関しては、園のしおりや運営委員会の資料に記載し、保護者等に周知している。</p> <p>重要データはアクセスを制限して情報の保護と共有をしている</p> <p>個人情報取扱規程には利用目的や開示請求への対応が記載され、個人情報使用の同意書を保護者から得ている。情報の扱いについては就業規則に遵守事項を定め職員に周知している。また、入社時に守秘義務などについての誓約を得ている。個人情報などの重要書類は鍵のかかる場所に保管している。園内では出退勤や午睡チェック、登降園管理でICTを利用している。また、連絡メールや名簿などはPGで管理し、端末にはパスワードをかけ重要なデータには園長のみがアクセス出来るようにして情報の保護と共有がされている。</p>			

5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ5の講評

個々の経験や役職に応じた評価と目標設定をして人材の育成に取り組んでいる

法人ウェブページの採用情報欄にキャリアパスの概要を掲載し入社前から確認できるよう配慮がされている。また、園内においてもキャリアパスについては職員個々に周知をしてキャリアパスについて意識してもらっている。人事制度では人事考課と目標管理の運用がされており、階層別の人事考課シートの項目に基づき評価を行うとともに、年2回の面談で出来た事、できなかったことを振り返っている。目標管理ではできなかったことにも着目し、半期毎に自己目標を設定して園長との面談時に振り返りが実施されている。

キャリアアップ研修や園内研修により職員が学び、スキルや専門性の向上が図られている

外部の研修ではキャリアアップ研修を職員が受講しており、令和3年度までにほぼ受講を修了している。今年度は新入職員が必要な項目から順次受講をしている。その他の外部研修受講については次年度から受講機会を増やしていくことを検討している。園内では調理や乳児保育、危機管理、手作り玩具、嘔吐処理、接遇マナーなどのテーマで研修を実施している。各研修はそのテーマが得意な職員が講師となって実施されており、講師役となることでスキルや専門性の向上に寄与する取り組みにもなっている。

職員間で日々意思疎通を図り、働きやすい職場環境づくりをしている

研修受講後は内容により会議で発表して職員間で共有している。小規模な保育園であり、保育や食事提供など子どもの育ちに関して、担任保育士と調理担当の栄養士が日常的にコミュニケーションを図り、意思疎通を図っている。また、園長は職員が気づいたことを伝えやすいように各クラスに足を運び、職員の話聴くことを大切にしている。有給消化率は100%であり、年3日のリフレッシュ休暇も取得できる。また、法人グループの人事直通ダイヤルで困りごとを誰でも直接相談できる仕組みがあるなど、働きやすい職場づくりを推進している。

カテゴリ7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリ1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<p>評価項目1</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>コロナ禍により、令和2年度は行事が中止され、令和3年度は感染症対策を行いながらどのように行事に取り組むかが課題となった。「行事を実施すること」が目標となった。</p> <p>行事については時間の短縮と人数制限を行い、また、消毒の徹底や非接触体温計による検温など、保護者の感染防止策を徹底した。例えば、発表会は0歳児と2歳児クラス、1歳児クラスと2日に分けて開催した。</p> <p>実施にあたり、換気、手指消毒、検温、間隔をあけて座る、室内消毒等徹底して、年齢に合った出し物を行い、行事を無事開催することが出来た。</p> <p>取り組みを振り返り、発表会の実施方法や保護者の参加など、令和4年の実施事項について取り組み方も明確になった。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、コロナ禍が始まった初年度は保育園の行事は軒並み中止となっていた。次年度の令和3年度は感染拡大防止策を徹底し、感染状況や社会情勢を鑑み、園として行事実施のスタンスを決定し、実施に至っている。また、振り返りにより次年度(令和4年度)のスタンスも明確になっている。</p> <p>行事の実施は外部の状況や保護者、職員の意向なども総合的に考慮して実施されたものと推察され、また、困難の中で子どもの育ちを第一に考えて行事に取り組んだことと推察された。</p>	
<p>評価項目2</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>要支援児の受け入れにあたり、要支援児計画と実践が課題となった。</p> <p>取り組みとして、個別ノートを作成し、健康状態、怪我、行動などの記録と要支援児の年間、月間、週間の書類を作成した。</p> <p>支援については、専門機関に相談し、療育のアドバイスを受けて実践し食事や遊びで子どもの状態に合った環境を提供することが出来た。</p> <p>今年度は前年度の経験を活かして、気になる子どものケアについて区の巡回訪問時に相談をして進めている。</p>	

目標の設定と 取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>特別な配慮が必要な子どもの支援について、計画と実践の目標を定めて専門機関と相談し、職員が学びながら実施している。また、前年度に取り組んだ経験を今年度の保育に活かしている。園として支援のノウハウが蓄積されているものと推察され、その知識や経験を園としてストックし、系列園などと共有する取り組みなども期待したい。</p>	

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>園の情報はウェブページや公的な情報公開サイトなどから知ることが出来る</p> <p>園のホームページには室内の様子や園として大切にしていること「下町の風情が漂う環境で子ども一人ひとりの気持ちを考える保育を」が掲載され、写真を用いた施設紹介やプログラム、入園や見学の案内などがウェブページ内でシンプルにわかりやすく案内されている。そのほか、施設情報は公的な情報公開サイトで案内され、子ども子育て支援情報公開システム(ここdeサーチ)等で公表されている。また、毎年、区には園の情報を提供しており、墨田区の子育て応援サイト内で紹介されている。</p> <p>散歩マップで近隣の公園が紹介されており、見学者等の参考になる情報提供がされている</p> <p>玄関を入るとすぐに、手作りの「おさんぽマップ」が掲示されている。近隣の公園が地図上で説明できるように作成されており、16か所の公園のほか、児童館、消防署などの紹介がされている。また、地図上に道や信号機の注意事項なども記入して内容を更新しており、職員だけでなく保護者や見学者の参考になる情報となっている。</p> <p>見学案内は新型コロナ感染対策をして、室内の環境や子どもの様子を見てもらっている</p> <p>作成しているリーフレットには理念や園の特色を記載して見学者等に配布している。見学案内は問い合わせがあれば随時実施している。コロナ禍につき、密を避けるため、室内への入室は子どもの散歩中にしてもらっている。案内は園長が担当し、リーフレットを渡して、散歩マップで普段の散歩先を紹介した入り、実物を示して入園時の準備物を伝えるなど、わかりやすい案内を心がけている。子どもの様子は散歩前後の時間帯や、保育室の外から見学してもらっている。案内資料については今後写真を取り入れた冊子なども準備する予定がある。</p>		

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園時には重要事項を丁寧に説明し、家庭と子どもの状況を細やかに聞き取っている 家庭状況など、保護者が記入する書類は面談前に郵送して提出してもらい面談時に確認をしている。面談では園長と担任の2名で園のしおりに沿って重要事項を丁寧に説明し、説明事項について同意を得ている。また、個人情報使用と肖像権使用についてもその際に保護者からの同意を得ている。面談時は面談票を用いて子どもの生活リズムや食事、睡眠などを聞き取っており、その際に聞き取った保護者の意向などは面談報告書に詳しく記録している。状況調査票や面談記録などは、利用開始前に職員間で確認し、共有して受け入れの準備をしている。</p> <p>入園当初は子どもと保護者が安心し、新しい環境に慣れるよう配慮している 慣らし保育は家庭と話し合いながら進めている。基本的には2週間程度の期間を設定するが保護者の就労状況を考慮して対応している。また、集団生活に慣れている子どもでも、1週間程度の時間をかけて慣らし保育を実施している。利用開始当初は特に連絡帳や口頭で子どもの様子をしっかりと伝えることを心がけ、保護者とのコミュニケーションを図っている。</p> <p>卒園を控えて不安がある場合は、悩みなどを確認し対応している 卒園を控えた保護者から連絡帳で悩み事などの記入があれば、内容に応じて園での様子を記入している。また、補足があればお迎えの際に伝えたり、その都度丁寧に対応している。転園する子どもに関しては、新型コロナ感染症が流行する前は転園先に引継ぎで訪問していたコロナ禍以降は引継ぎは実施していない。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ-毎の 標準項目実施状況	12/12
3 個別状況の記録と計画策定			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している			評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		○非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している			評点(〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載する仕組みがある		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している			評点(〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している		○非該当
サブカテゴリ-3の講評			
<p>チェックシートなどにより個々の発達を捉え、課題について話し合い計画に反映している</p> <p>子どもの状況は、法人統一の書式で整備されている児童状況調査書や発達チェックシートに記録している。発達チェックシートは全クラスで毎月子どもの様子を見て記録し振り返っており、子どもの発達の課題などについてはクラス内や職員会議で話し合い、発達の状況を踏まえて月案や週案などの計画を作成している。各保育計画については計画期毎に各クラスで評価と反省をおこなっている。評価・反省は子どもの様子を確認して記入し、次回に繋げられるよう目標や援助などを記載している。</p> <p>子どもの様子を捉えて各指導計画を作成し、計画期毎に評価・反省をしている</p> <p>年間指導計画、月案、週案の各計画は保育の全体的な計画を踏まえて作成されている。各計画で子どもの様子を捉え、ねらいと環境設定を記入し、評価・反省をしている。2歳児までの保育園であるため、全員に個別計画を作成している。また、配慮が必要な子どもが在籍する場合は、個別に専用の計画や記録書類を作成している。保護者には保育参加のときなどに園での子どもの様子を見て貰っており、その時に計画について話をすることもある。</p> <p>子ども個々の様子を細やかに記録し、会議や申し送りで園全体での情報共有をしている</p> <p>子どもの様子は児童票や指導計画の反省欄に記録しているほか、毎日の子どもの様子を記録する個別日誌があり、各クラスで毎日子ども個別にその日の様子を記録している。これらの記録に基づき、朝礼や職員会議などで子どもの状況について園全体で共有している。子ども個々の生活や体調面については、生活確認表に登降園の時間や体温、給食やおやつ摂取状況、排便などの記録をして、申し送り、引き継ぎにより園全体で共有している。保護者への連絡や報告は担任以外であっても、誰もが対応出来る体制が整ってきている。</p>			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得ようとしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		○非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>子ども個々のプライバシー保護に配慮がされている</p> <p>個人情報の使用手順についてはマニュアルに定めている。使用する際は目的を特定してあらかじめ保護者の同意を得て使用することが保護者に周知されており、肖像についてはパンフレットや掲示、園だよりなど個々に同意を得て使用している。保育の現場では0歳児のオムツ交換・着替えの際は、ロールカーテンを下ろし、着替えの際は間仕切りを使用してその中で着替えを行うなど、常に、子どものプライバシーや羞恥心に配慮している。</p> <p>一人ひとりに寄り添い、思いを受け止めてから支援することを心がけている</p> <p>子どもの気持ちに寄り添い、一人ひとりの思いを受け止めて保育をすることを心がけている。視察の際も、その都度子どもに声掛けをしてから援助をしたり、子どもが何を求めているのか、子どもの意志を尊重しながら保育を行っている様子が見られた。子どもの人権については、随時職員同士で声を掛け合い、話をしている。視察時は子どもに対する言葉かけや対応、援助等がとても丁寧で、日頃から子ども一人ひとりを尊重して保育を実践しているものと推察された。</p> <p>子どもとの適切な関わりについて、職員間で確認し合うなどで改善・向上が図られている</p> <p>年1回、職員個々が虐待防止に向けたチェックリストを実施して個々に振り返っている。また、不適切な保育については事例を取り上げて読み合わせ、職員間で話し合うなど、子どもを尊重した保育が常に行われるようにしている。オープンに話し合う風土づくりをしている事もあり、保育中に疑問を感じたことがあれば、午睡中や退勤の際に、気づいた職員から対象の職員に直接話をしており、子どもへの関わりについても改善・向上が図られている。</p>			

サブカテゴリ6	
6 事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている ○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている ○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している ○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている ○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている ○非該当
サブカテゴリ6の講評	
<p>各種マニュアルを整備し、必要な業務の標準化が進められている</p> <p>法人マニュアルは衛生や感染症、嘔吐、食中毒、清掃、危機管理などが準備されている。危機管理マニュアルでは散歩や園外保育、事故、誤飲、怪我、SIDS、熱性けいれん、各災害対応等の対応マニュアルが整備されており、対応手順の明確化が必要なものについてはフローチャートが作成されている。また、室内に前述のフローチャートを掲示する等で、勤務する職員がいつでも確認ができるようにしている。嘔吐処理などについては園としてのマニュアルを作成し、園内研修で資料として使用しているなど、必要な業務の標準化対応がされている。</p> <p>保育の基準となる保育園マニュアルは、法人園長会において適宜見直されている</p> <p>キャリア保育園マニュアルは、毎月開催されている系列園の園長会において、各園の様子や状況に照らして意見交換をして、必要に応じた見直しを実施されている。保育園マニュアルが整備されていることで、キャリア保育園として統一した保育を提供することができている。園内では入園のしおりについて系列園と内容の擦り合わせを行い、毎年度見直し改定している。園内の基本業務については今後点検と必要に応じた改定をする体制の整備をしていく意向がある。</p> <p>保護者から意見や提案があったときは、検討して必要に応じ改善策が実施されている</p> <p>年に2回開催される運営委員会では保護者代表から意見を聞く機会を設けている。また、開催前には保護者から意見を収集しており、要望や意見・提案等があれば反映できるよう努めている。例えば、給食の見本提示については、保護者からの意見を踏まえ献立写真とメニューの掲示などが実施されている。また、保護者からの意見の中で、園全体で話し合うべき内容については職員会議等で話し合い、改善するとともに保護者に実施した事項を周知している。</p>	

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ4	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
			33/34
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇)・非該当1	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
◎あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
○あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		◎非該当
評価項目1の講評			
<p>発達に合わせた玩具を用意し、子どもが手に取り、好きな遊びができるようにしている</p> <p>子どもが主体的に動けるよう環境を整えている。絵本コーナーやマットスペースがあり、視察の際も子どもがそれぞれに自分の居場所で活動していた。食事や机上遊びの際に使用する椅子には手作りの背もたれを置くなど、個々の年齢や成長に合わせて調整をしている。玩具は発達に合わせ手作り玩具等を用意しており、その年の様子を見て年度内に入れ替えなどもしている。玩具は全て子どもの手の届く場所にあり、いつでも興味のある玩具を取り出せるように配慮している。視察の際も、子どもが自由に興味のある絵本や音のなる玩具を出して遊ぶ姿があった。</p> <p>日常的に異年齢の関わりがあり、互いに刺激を受けて育つ環境がある</p> <p>朝の会は、1歳児と2歳児が合同で行い、帰りの会は、全クラスで実施している。現在は、2歳児の子どもが少ないため、日中も1、2歳児が合同で過ごしている。行事実施時や散歩先で一緒に遊ぶ等、異年齢児が日常的に交流しており、視察時も、日中や帰りの会で異年齢同士で関わる姿が見られた。常に異年齢の関わりがあることで、子ども同士がお互いに刺激し合う環境となっている。</p> <p>子ども個々の状況に応じ、一人ひとりの気持ちを受け止めて支援を実施している</p> <p>気になる子どもの保育では、巡回指導を利用して専門家からのアドバイスを得ている。また、会議で話し合い、関わり方を統一して、子どもの気持ちを受け止めることや気持ちを言葉で代弁する等の対応をしている。子ども同士のトラブルの際は、例えば玩具の取り合いであれば、お互いの気持ちを尊重して対応するなど、個々の思いを受け止め、個々に寄り添った対応をすることになっている。夕方になると子ども達も疲れてくるため、保育者が意識して見守るようにしているが、噛みつき等が頻繁に起こる場合は嘔んだ子どもの保護者に報告する事もある。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
◎あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 休息(屋寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>毎朝子どもの様子を確認し、お迎え時にはその日の様子を伝えることを心がけている 登園時には子どもと保護者の検温を行い視診をしており、生活確認表に子どもの様子等を記入している。子どもの体調について口頭で確認し、家庭と情報を共有している。降園時には迎えに来たコロナ禍であるため、保護者には外で待ってもらい、子どもと帰る準備を行い送り出している。その際に、その日の子どもの様子は必ず伝えることにしている。その日の様子については必ず園内で申し送りをしており、基本的には担任、もしくは遅番保育士が保護者に伝えることにしている。</p> <p>生活習慣の支援は家庭と連携し、子どもの発達に合わせて進められている トイレトレーニングは家庭と連携し無理がないように進めている。1、2歳児は時間を決めて決まった時間に皆でトイレに行くなどしている。食事時は子ども個々の発達に合わせて、マナーや食具の使い方を子どもたちに伝えている。視察時も、栄養士の職員が給食やおやつの際に子どもの様子を見に来て、食具の使い方を直接伝えており、日々繰り返して伝えていくことで習慣が身に付くよう援助している。</p> <p>家庭から生活状況を確認し、発達に応じた適切な生活リズムがつくれるよう配慮している 視察時は12時過ぎから14時まで午睡の時間を取っていた。小さな子どもに対しては、午睡が必要な子どもは午前中も寝かせたり、午後も睡眠が必要な子どもは寝かせるなど、子どもの生活リズムに合わせている。休息の支援については、保護者に家庭での就寝・起床時間、睡眠時間、子どもの体調などを確認し、個々の状況に合わせて対応をしている。家庭の状況を確認し、家庭と連携して発達過程に応じた適切な生活リズムが作れるように配慮している</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもはゆっくりと過ごせる環境の中で、落ち着いて言葉の伝えあいを楽しんでいる 各クラスでコーナーを設定し、子どもが自ら興味のある玩具を取り出し、好きな場所で遊べるよう環境を整えている。また、子ども一人ひとりと丁寧に関わることで、子どもが落ち着いて言葉を伝えられるように、ゆったりとした雰囲気作りをしている。個々の援助場面では、言葉にならない言葉を保育者が代弁し、子どもの声を丁寧に聞いて、子どもの言葉を引き出せるような言葉かけをしている。視察時も、活動の前後や帰りの会の時など、要所に絵本を見る時間を取り入れ、保育者が絵本を読み、子どもとの言葉遊びを楽しんでいた。</p> <p>素材に触れたり、音楽に合わせて体を動かすなど、表現を楽しむ機会を設けている 製作等で子どもが様々な素材に触れたり表現できる機会がある。視察時の室内には0歳児の子どもの手形の製作物、1歳児は絵の具でデカルコマニー、2歳児は毛糸通しの製作物が掲示されており、定期的にさまざまな製作を実施している様子であった。活動では音楽を流し皆で踊ったりする時間も設け、皆で行う活動を楽しんでいる姿が見られる。子どもたちは個々に興味があることが違うので、子どもの思いを受け止め、保育者がどの遊びが子どもが一番楽しめるかを考慮し、日々保育の保育が実践されている。</p> <p>天候や気温を考慮して行き先を変えるなど、工夫をして戸外ならではの活動をしている 戸外には毎日のように出かけており、近隣にある公園等で遊んでいる。公園ではどんぐり等の木の実を見つけに行ったり、飛行機を見たりと、季節の移り変わりを感じつつ、さまざまな発見や体験ができるよう、言葉かけをしながら戸外遊びを楽しんでいる。気温が低い日や高い日、天気の良い日悪い日などもあるため、天候に応じて行く先を変えたり時間等にも配慮し、少しでも戸外に出られるようにして、戸外ならではの活動を子どもたちが楽しめるよう工夫をしている。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもがさまざまな体験をして楽しめるよう、それぞれの行事内容を工夫している</p> <p>それぞれの行事では子どもたちが楽しめるよう工夫をしている。夏祭りではたこ焼きやチョコバナナを製作し、お土産として持ち帰った。ひな祭りでは各クラスでひな人形を作った。ハロウィンでは魔女に変装した職員から一人ずつお菓子を貰い、皆で仮装をして公園にも行った等、準備を丁寧に行い、さまざまな体験ができるようにしている。</p> <p>主体的に参加できるように導入の工夫をして、子どもたちに行事を楽しんでもらっている</p> <p>行事は職員が担当制で計画を作成している。導入として行事に関する歌を歌ったり、絵本の読み聞かせをするなどして、行事に向かい子どもたちの気持ちを高めている。例えば節分では、鬼のお面を作ったり、節分の歌を歌ったりと、子どもたちに楽しんでもらいながら行事の雰囲気作りをしていき、行事の当日は、職員が鬼役になり、子ども達は豆に見立てたカラーボールを鬼に投げ、乳児も楽しく参加出来るよう意識して行事を実施している。</p> <p>子どもの様子を動画で伝えるなどの工夫をしているが、周知が遅くなる事もある</p> <p>行事の様子は動画配信や写真販売、お便りなどで保護者に伝えている。動画はアプリを利用し、保護者限定で配信している。行事の予定については年間スケジュールは立てているが、時期がどうしてもずれてしまい、その日に出来なくなってしまうこともある。そのため、保護者への行事のお知らせを一か月前に通知せざるを得なくなってしまうこともある。保護者参加の行事についてはなるべく早く伝えられるように改善していくことを期待したい。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>子どもの興味に応じて、楽しく、集中して遊べる環境を整えている</p> <p>調査時点で延長保育を利用する子どもはいなかったが、保育時間が長くなる子どもに対しては、普段遊んでいない玩具やパズル、風船など、その子どもが興味のある玩具や遊びで過ごせるよう配慮している。シール貼りやクレヨンでのお絵描き、塗り絵、はさみ・のり等の指先を使って遊ぶ遊び等に興味があれば机上遊びを存分に行うことが出来る環境を準備しており、机上遊び等で集中して遊ぶ中で想像力が育ってきているとの事であった。</p> <p>ゆったりと落ち着いて過ごすことが出来る環境にしている</p> <p>マットスペースでゴロゴロしたり、部屋の隅でゆったりと寛いで過ごすことが出来る環境がある。保育時は水分補給なども行いつつ、疲れた時は体を休めてもらっている。シフト制ということもあり、毎日職員全員が子ども達一人ひとりと関わっている。スポットで延長保育を利用している子どももあり、一対一で対応し、子どもから遊びたい玩具ややりたい事を伝えてもらい、その子の希望に沿った遊びが出来るようにしている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>発達に応じ、ゆったりとした雰囲気の中で楽しく食事できる環境づくりがされている</p> <p>園の方針としては、食事は無理に食べさせないようにしている。苦手な食材については、「一口でも食べてみよう」等、子どもの体調や様子を見ながら声掛けをしている。ゆったりとした声掛け、個々の発達や個々のペースに合わせた介助をすることに留意しており、視察の際も、子どもがゆったりとした落ち着いた環境の中で楽しく食事がとれるように保育者が常に寄り添い、見守りながら声かけや援助がされていた。</p> <p>郷土料理や誕生会メニューなど、工夫を凝らしておいしい食事作りに取り組んでいる</p> <p>味、盛り付け、形状などに工夫して食事を提供している。郷土料理は「今月は〇〇県」等、毎月提供しており、例えば、沖縄県のサーターアーンダギーや、青森・岩手県の南部せんべいをおやつで提供している。行事の際は行事食を提供している。例えばハロウィンではおぼけのカレー、節分では鬼の顔に角を付けたドライカレー等、工夫されたメニューを提供している。お誕生日会には法人共通の献立があり、毎回普段の献立とは違う特別感が感じられる献立を提供している。</p> <p>年間の食育計画を立て、食への興味や関心を高める食育活動を実施している</p> <p>年間の食育計画を立てて食育を実施している。食育は2歳児が中心に行い、1歳児も出来る参加できるところに参加している。食育計画では毎年目標を断っており、今年度は「楽しく食べる経験から『食を営む力』の基礎を培う」として年間の食育を実施している。野菜のさや取りやピーマンの種取り、とうもろこしの皮むき、すいか割り、月見団子作り等、季節の食材を使って楽しい食育の計画を立てている。食育活動により食への興味を喚起しつつ、2歳児の食具指導なども取り入れている。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気がけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>手洗い指導を子どもたちが取り組みやすいよう工夫して実施し、習慣になっている</p> <p>年間保健計画を作成し、健やかな身体をつくることに取り組んでいる。健康指導では手洗い指導を行い、手洗い場には手洗いの手順や手洗いの歌を掲示して、各クラスで実践している。視察の際も、戸外活動後や食事の前には子どもたちは自ら手を洗う習慣が身についていた。なお、うがいについては2歳児が一時期実施していたが、現在は飛沫感染対策の為に実施しておらず、家庭で実施して貰うようにしている。そのほか、2歳児には鼻水のかみ方等も職員や園長から伝えている。</p> <p>医療的なケア等、特別な配慮の必要が生じたときは体制を検討し対応することになっている</p> <p>医療的なケアが必要な子どもは現在受け入れていない。障害がある子どもの場合は、区役所と保護者に状況を確認し、会社と相談して受け入れを検討する。気になる子どもや配慮が必要な子どもの支援では、専門機関と相談し、計画と実践の目標を定めて支援することになっている。また、子どもが療育機関に通う場合、通所先の療育機関および保護者との間で情報を共有することになっている。</p> <p>乳幼児突然死症候群(SIDS)予防を徹底している</p> <p>午睡時は、部屋の灯りは消さずに子どもの表情がよく見えるようにしている。また、子ども同士の間隔は少し空けて、頭の向きが欄の下にならないように、安全面に配慮している。乳幼児突然死症候群(SIDS)予防では、0歳児は5分毎、1,2歳児は10分毎にチェックを行い、目視で呼吸、顔色、姿勢を確認しており、常に仰向けで寝る体勢になるよう気を付けている。</p>		

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者の就労事情に柔軟に応じることができる体制を整えている

保育時間やお迎え時間の変更、スポット延長保育の受け入れを実施しており、保護者の就労状況に応じた対応をしている。スポットで延長を利用する場合は、当日の受け入れ時間が過ぎても受け入れている。また、当日の16時までには連絡があれば、補食を用意することが可能である。選番の保育者は2名体制にしているため、利用者する子どもが増えても対応することが出来ている。

保護者会では保護者同士が交流し、子育ての認識を共有できる機会を設けている

子どもの発達や育児については、毎日の送迎の際に家庭での子どもの様子を直接聞いたり、連絡帳のやり取りで相談の対応がされている。連絡帳で伝えられる相談のうち、着替えや靴の選び方等、共通の悩みは保護者会でテーマとして伝えて共有することもある。年に2回開催している保護者会では、自己紹介をして保護者同士が交流できる機会や、困っている事や悩み事などを話し合う時間を設けている。また、保護者会では、その時の子どもの様子や今後の子どもの姿等、資料を作成して保護者に伝えている。

保護者の要望や事情を汲みつつ、保護者が子どもの姿を知る機会を豊富に設けている

子どもの姿を知る機会として保育参加を実施している。基本は「参加」だが、子どもの普段の様子を見たいという声があったため、1歳児のみ「参観」をしてうなど、保護者の要望に応じて柔軟に対応している。夏祭りや発表会は15:45～の開始であり、時間帯は、保護者と子どもと一緒に帰れるように設定している。また、保育参観や保育参加は午前中に行い、終わり次第保護者と一緒に降園して貰っているが、保護者がその後仕事の場合は、子どもを預かっている。

9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(○●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
○あり ●なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目9の講評

地域資源の十分な活用については次年度に向けた課題となっている

コロナ禍につき地域資源の活用などは積極的に行なうことが出来ておらず、次年度に向けた課題となっている。戸外遊びでは近隣の公園を活用しており、地域の資源を活用した園外活動を行なうことが出来ている。また、子どもが職員以外の人と交流出来る機会がなく、今後の課題として、他園の行事に参加させてもらう等、他の園と交流を持つことを挙げている。小規模園の連絡会があるので、令和5年度には交流が出来ると良いと考えている。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル①	安全対策を徹底し、子どもが安心して過ごせる環境づくりをしている	
内容①	室内の整理整頓を心がけ、落下防止策や破損箇所等の点検をして安心して遊ぶ環境づくりをしている。また、年2回の不審者対応訓練等で防犯対策にも力を入れている。感染症対策では手洗いの徹底のほか、手指消毒、検温、玩具消毒、換気を徹底している。室内のマット等も使用後は消毒する等、清潔を保持しており、また、給食提供時はエプロン・帽子・手袋を着用して援助する等、感染症対策を徹底している。視察時は小さな子どもも手洗いを進んで行う姿があり、習慣になっている様子であった。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	「家庭と保育園はパートナー」という理念に沿って家庭と連携し保育を実践している	
内容②	「家庭と保育園はパートナー」という考えにもとづき、保護者とコミュニケーションをとり連携を図っている。受け入れ時には、丁寧な対応で子どもたちを迎え入れ、受け渡し時には、一人ひとりの子どもの姿を言葉で伝え、会話を交わし、安心して預けられるように心がけている。また、連絡帳では保護者の言葉にきちんと答え、一日のエピソードを振り返り、保護者に伝わるように記載している。日々の丁寧な対応をすることが信頼関係につながるという気持ちを持って保護者に接している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル③	「楽しく食べる経験から食を営む力の基礎を培う」ことを目標として食育を実施している	
内容③	食育では旬の食材を使い、においをかいだり、大きさを知ったり、食材の名前をを覚えたりと、食材に興味を持てるような活動を実施している。また、夏にはすいか割りおこなって季節を楽しみ、秋には月見団子を作って行事の由来を知るなど、季節ごとの行事や旬を知る取り組みも実施している。給食では味や盛り付け、形状などの工夫をして、また、毎月の郷土料理や行事食、誕生日会の特別メニューなど、子どもが喜び、食事をおいしく食べることが出来る献立作りに力を入れ、食への関心を高めている	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの気持ちを大切にして、意欲を尊重した保育を実践している
	内容	子ども一人ひとりに寄り添い、受容を共感を持って保育を実践している。散歩に行く、食事をする、着替えをする、手洗いをする等の時は、意欲的な行動ができるように保育者から声を掛けている。「自分で」という気持ちを大切にし、尊重して、見守り、援助している。視察時は、0歳児が戸外活動から帰園した後に、保育者が手洗いの歌をうたい、子ども達も進んで保育者と一緒に手洗いをしており、手洗いの習慣が身につけている様子であった。個々の気持ちを受け止め、丁寧に声掛けをして、子どもの意欲を尊重した保育を実践していることが推察された。
2	タイトル	リズム遊びや子どもの興味に合わせた製作等、子どもが楽しみながら発達に応じた活動が実施されている
	内容	リズム遊びではピアノの音に合わせて、立つ、座る、歩く、ジャンプする、身体を反る等をおこない、身体を動かしている。保育者の動きを真似してバランスを保ち、平衡感覚を養い、身体全体を動かす楽しさを知ってもらっている。製作や机上遊びでは、子どもが様々な表現を楽しめるように工夫をしている。なるべく毎月製作を行うように心掛け、糸通し等、素材に触れ手先を使って集中する遊び等を提供している。シール貼りやお絵描き、はさみとのりを使った製作、粘土など、子どもの興味に合わせて遊びを提供することで子どもの想像力を育てている。
3	タイトル	子どもたちがさまざまな発見や体験ができるよう、戸外活動を積極的に実施している
	内容	戸外活動を積極的に取り入れ、毎日の保育の中で季節の移り変わりなどを感じられるようにしている。散歩には毎日のように出かけており、風が強い日や気温の変化等、その日の天候により散歩の行先や外出の時間を調整し、子どもの体調にも配慮して、戸外での遊びを少しでも多く楽しめるよう取り組んでいる。戸外では公園で木の実を見つかったり、飛行機を見たりと、季節の移り変わりを感じつつ、さまざまな発見や体験ができています。戸外に出るからこそ分かることや感じられることもあり、その体験をすることを大切に考えて戸外活動に取り組んでいる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	中長期計画を策定し、園の課題解決に向け取り組んでいくことを期待したい
	内容	地域の環境や保育ニーズの変化を捉え、園としての課題も把握しているところであり、園内外の環境を踏まえ事業運営に関わる重要な意思決定なども実施されている。今後も地域において保護者のニーズに応え続けていくためにも中長期的な視点で諸課題の解決に取り組んでいくことが期待される。中長期的な計画を策定し、単年度の重要な項目については具体的な行動計画を作成する等、安定的な事業運営に向け取り組んでいくことを期待したい。
2	タイトル	コロナ禍もあり滞りがちであった地域資源の活用に積極的に取り組んでいただきたい
	内容	戸外遊びでは近隣の公園を活用しており、地域の資源を活用した園外活動を実施することが出来ているが、コロナ禍につき、例えば、図書館や児童館など、身近な地域資源の活用を積極的に行なうことが出来ておらず、次年度に向けた課題となっている。また、子どもが職員以外の人と交流出来る機会がなく、この点については園としても改善策を検討しているところである。検討事項を実行に移し、地域との交流の機会を創出していくことを期待したい。
3	タイトル	行事日程の連絡は早目に行うことを勧めたい
	内容	行事日程については、年間スケジュールを立てているが、時期がどうしてもその日に実施できないこともある。コロナ禍もあり、計画通り実施できないこともあったと推察されるが、今後は保護者参加の行事に関してはなるべく早く日程を周知することに留意することを望みたい。